かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略に取り組みます！

問 地方創生担当(千代田庁舎)

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？

国は、急激な人口減少および東京一極集中による地方経済の縮小という課題に対して、「まち・ひと・しごと創生」の取り組みを推進することで、人口減少に歯止めをかけ、活力ある社会の維持を目指しています。「かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、次の視点をもとに、本市の人口減少の克服と地域の自立的かつ持続的な活性化に向け、目指す姿や最初の5年間の基本的な取組方向と取組項目を示したものです。

【まち】地方で安心して暮らせる。地域の特性に即して課題を解決する。

【ひと】地方への新しいひとの流れをつくる。若者の就労・移住・定住を促進する。若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

【しごと】若い世代が安心して働ける、安定した雇用を創出する。

基本方針・計画期間

本戦略では、結婚・出産・子育てに関する様々な課題を解消し、希望する人が安心して子どもを産み育てられるようなまちづくりを進め、現状で1・50の合計特殊出生率を、2025（平成37）年に1・8、2040（平成52）年に2・10まで段階的に向上させることを目指します。

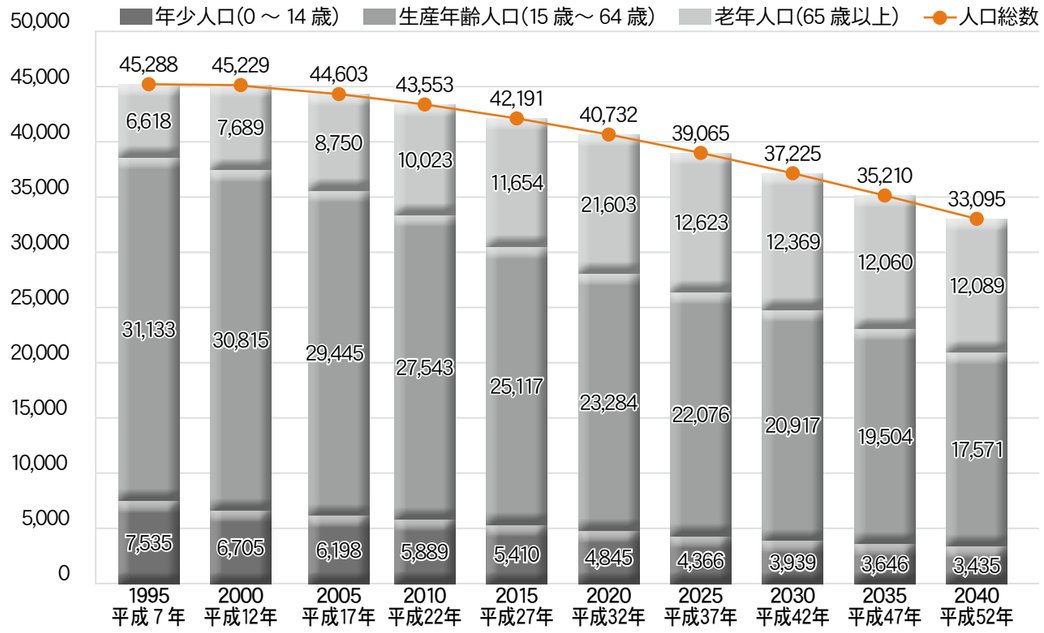
また、社会移動の改善に向け、市内での雇用の確保・拡大や定住環境としての魅力を高めるまちづくりを進めます。併せて、進学、就職のため市外に転出した若者を生まれ育ったかすみがうら市に呼び戻す施策など、社会移動による人口増を図ります。

短期間に実行性の高い施策を展開する観点から、計画期間は平成27～31年度の5年間とします。

▲市ホームページ QRコード

かすみがうら市の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は減少傾向が続き、2040（平成52）年には現在より約1万人減少し33,095人で、2010（平成22）年の76.0%となると推計されています。若年世代の減少は、今後生まれてくる子どもの数の減少につながり、人口減少が加速化していくことが予測されます。



【4つの基本目標】

本戦略では、次の4つの基本目標を設定します。

基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する

⇒安定した雇用を創出し、新たな転入者を確保する。

○企業誘致や創業・起業の推進、6次産業化の推進により、安定した雇用を創出し、市民の定住、市外からの新たな転入者の確保を目指します。

基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる

⇒交流人口の増加、Uターン者の増加を目指す。

○自然環境を活用した交流人口の増加により、新しい人の流れを創出するとともに、進学・就職により一度転出した出身者をターゲットとして、Uターンの促進を図ります。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

⇒結婚・出産の支援により、合計特殊出生率を向上する。

○出会いの場の創出、子育て・教育の一体的な支援による子育て環境の充実を図り、成婚者の増加と出生率の増加を目指します。

基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する

⇒安心な暮らしによる定住促進、転出者の抑制を図る。

○新たな拠点づくり、空き家活用による住まいの確保、災害に強いまちづくり、公共交通ネットワークの充実などにより、安心な暮らしの実現を目指します。

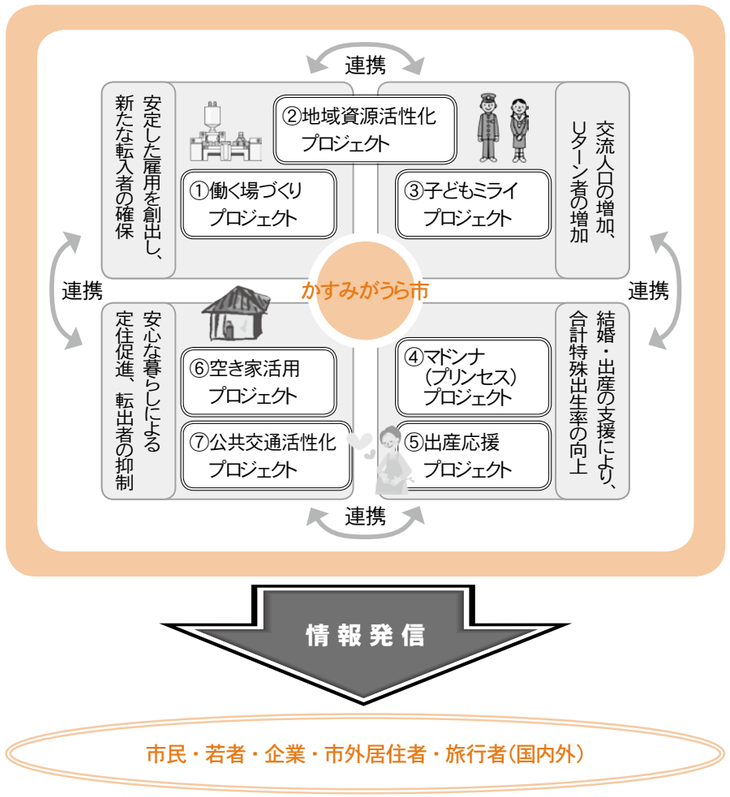
重点プロジェクト

基本目標ごと、もしくは2つの基本目標をまたがって重点プロジェクトとして取り組むことで、人口ビジョンにおけるターゲットを対象とした取り組みを推進します。

そのため、具体的な施策の中でも、目標達成に向けて特に効果的で実現性が高い取り組みを重点プロジェクトと位置づけます。これらのプロジェクトの連携を図ることで相乗効果が見込まれ、より効果的な取り組みになり、若年世代の移住・定住の促進とともに、特に出産・子育てを行う家庭の増加につなげます。

さらに、本市の魅力や地方創生に係る取り組みについて、市民はもちろん、国内外へ積極的に情報発信するとともに、情報交換・情報共有しながら、事業に取り組みます。

※各プロジェクトの詳細は6～7ページ



働く場づくりプロジェクト

企業誘致に向けて税制を含めた優遇措置などにより、積極的に企業誘致に取り組むとともに、窓口の一本化やPRにより新たな企業立地を促進します。また、本市の豊かな地域資源を活用した創業・起業を推進するため、専門家による支援や相談窓口の設置、セミナーなどの開催により、雇用を拡大し、Uターン者の拡大を図ります。

▷ かすみがうら市の立地条件を活用して事業所を立地したい

積極的な企業誘致
- ○企業立地促進助成金の拡充（税制を含めた優遇措置）
- ○本社移転の場合は現行制度に上乗せ
- ○工業団地内などの空き工場・空き土地のあっ旋

窓口の一本化
- ○コンシェルジュ配置
- ○企業の意向調査
- ○立地場所のPR

▷ かすみがうら市で起業したい
▷ かすみがうら市の資源を活用して創業したい

創業・起業の推進
- ○創業支援事業計画策定による創業支援
- ○専門家による支援の制度化
- ○事務所のあっ旋
- ○創業支援助成制度創設

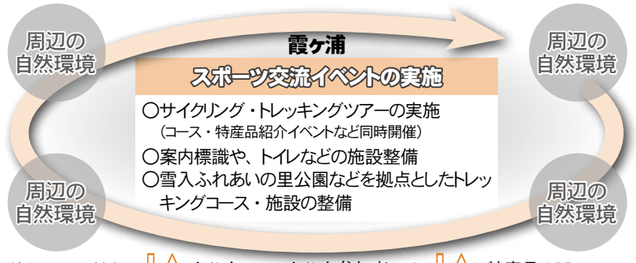
相談・育成
- ○相談窓口設置（ワンストップ窓口）
- ○創業塾・講演会・セミナーなどの開催

雇用の拡大・就業者数の増加

地域資源活性化プロジェクト

霞ケ浦を周遊するサイクリングや自然を活かしたトレッキングなどのスポーツイベントを開催し、周辺都市や首都圏からの新しい人の流れをつくります。

また、農水産物を活かした6次産業化を促進し、特産品紹介イベントなどの同時開催や体験型観光との連携を図り、地域産業の活性化、雇用の創出を目指します。



首都圏へのPR
- ○PR推進事業（地域資源などの情報発信）
- ○講座イベントの実施

第1次産業活性化、6次産業化
- ○販売支援共同設備導入支援
- ○新商品開発（日本酒など）
- ○販路拡大の推進（海外輸出・食材サロンなどへの参加）
- ○開発支援（大学などと連携、メニュー開発、規格外品の加工商品化）

子どもミライプロジェクト

子どもたちが、故郷の魅力や特徴、問題点を学び、市の現状や地方創生に向けた取り組みを理解することで、市内での就業や起業を希望し、将来のまちを担う若者の定住率、Uターン率の増加を図ります。また、大学を含めた教育関係や生涯学習関係者による地元学のネットワークを構築し、キャリア教育ができる体制づくりを進めていきます。

子どもたちが理解しやすい教材・コンテンツ

地方創生に関する国や報道関係の資料や映像は、子どもたちにとってわかりにくい ⇒ 国や市の現状と将来について、子どもたちが理解しやすい教材や映像資料・マンガなどを制作し、市内の全中学校に配布

地方創生に関する出前授業
- ▶上記の教材・コンテンツを活用し、市内３中学校を対象に地方創生をテーマとした出前授業を実施
- ▶子どもから大人へ成長する過渡期にある中学１年生への授業を想定

まちの未来を考える「子どもミライワークショップ」

子どもたちに地域のことを知ってもらい、郷土愛を持ち、将来的に定住または応援する ⇒
- ▶地場産業や地域の歴史・文化などを学ぶ地元学を実施
- ▶子ども達がかすみがうら市の未来を考えるワークショップを実施（中学2年生を想定）

子どもたちが理解しやすい教材・コンテンツ

・独自の地理、産業、文化がある
・遊休施設の活用可能性 ⇒
- ▶国地場産品や歴史文化を活用した子どもたちによるビジネスプランづくり
- ▶ビジネスプランの実践（中学3年生を想定）

マドンナ（プリンス）プロジェクト

進学や就職により都心方面へ転出している若者に対し、結婚期にあたるタイミングで「同窓会」「同郷会」を企画提供します。相性の良い男女を引き合わせる」ことにあわせ、適切な職業に引き合わせる」ことなど、「婚活」「創業」「定住（空き家活用プロジェクトと連携）」といった複数の要素を盛り込んだ、先駆的なこれまでにないイベント「赤い糸パーティー」として実施します。

ジモトに残るマドンナが帰郷を呼びかける同窓会を企画

ジモトのしごと紹介・しごと体験と連携して同郷会を企画

STEP 1 ジモトに残るマドンナ（プリンス）を中心に「呼びかけ隊」を結成

STEP 2 同窓会（既設）と連携して、同郷会を企画する。

STEP 3 赤い糸パーティーを実施ジモトの産品でふるまう。（ex. 栗・梨・レンコン・魚・貝）

しごとを紹介するイメージ

ちゃんと受け止める

STEP 4 出会った人、帰郷しようと思った人などを把握する。

STEP 5 商工会など様々な組織で全面的に支援する。（ex. 住宅・子育て・しごと）

出産応援プロジェクト

子育て世帯に対して、児童手当、医療福祉制度、不妊治療費助成事業、就学支援費事業に加え、不妊治療や妊婦に対する通院費用の助成を実施し、経済的負担や不安を軽減し、子どもを持ちたいという希望をかなえます。加えて子育てサークルなどの活動を支援することで、出産しやすい・子育てしやすい環境をつくり、出生数の増加を図り、若年世代の移住・定住を促進します。

▷ 子どもを持ちたいがなかなか妊娠できない。
▷ 不妊治療が高額で続けられない。

不妊治療にかかる費用に対する助成の拡充

▷ 出産や子育てに係る費用が心配で子どもを増やすことを断念せざるを得ない。

妊婦の通院費用に対する助成の新設
通学定期の助成

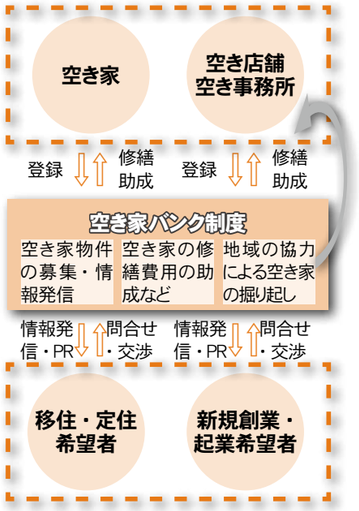
出生数の増加

出産・子育てサークル活動の活性化

▷ 出産・子育てに関して不安だ。
▷ 出産・子育てに関する知識や経験談などを学びたい。

空き家活用プロジェクト

市内の空き家などの有効活用を図り、良好な住環境の確保と定住促進、起業の促進につなげていきます。



公共交通活性化プロジェクト

神立駅を中心に市内循環バスとデマンド型タクシーの運行を進め、駅周辺と集落地域のアクセス強化に取り組みます。さらに、通学定期券への助成を行い、公共交通の利用促進、子育て世帯への負担軽減を図ります。市内の移動利便性が向上するとともに、通学しやすい環境づくりを行うことで、転出者の抑制を目指します。